

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課
担当名：総務・野菜担当
内線：4133 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P27	あまかおべにべに倍増作戦展開事業				一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費	
事業期間	令和 6年度～令和10年度	根拠法令	無し			針路分野施策		12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 8, 9, 13 SDGsターゲット 8-2, 9-5, 13-2
1 事業概要 アグリテックの活用や新技術養液灌水装置を備えた実とり苗生産施設の整備を支援するとともに、栽培施設への遮光技術の導入を支援し、美味しく高品質な県育成品種のいちごの栽培面積を倍増を図る。 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 △416千円 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 △777千円					5 事業説明 (1) 事業内容 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 9,980千円 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 45,750千円 (7)実とり苗生産施設整備戦略 27,000千円 (i)品質・食味確保栽培施設強化事業 18,750千円 (2) 事業計画 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 アグリテックによるセル苗生産試験、生産されたセル苗の現地栽培実証、収穫物調査 苗の安定供給体制の検討、品質・食味維持向上のための活用支援 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 (7)実とり苗生産施設整備戦略 県育成品種の実とり苗を生産するために必要な施設の整備支援 (i)品質・食味確保栽培施設強化事業 栽培面積を拡大する上で、品質・食味および安定した出荷量を維持して生産するため、高温対策として必要な遮光資材の整備 (3) 事業効果 育苗施設の支援と新技術による苗生産等により必要な苗が確保され、県育成いちご品種が倍増以上になる。 県育成品種の新規の栽培要望にも対応できる。 県育成品種のいちごが、品質・食味が安定して生産される。 【活動指標アウトプット】新技術養液灌水装置を備えた育苗施設の整備 12件/年 栽培施設用の遮光資材整備支援 25件/年 【活動指標アウトカム】 R5年産12.7ha→R9年産31.9ha (4) 補正予算の概要 執行節減による事務経費の減額 補助要望額が見込みを下回ったことによる減					
2 事業主体及び負担区分 ア (県10/10) イ (県1/2) 市0・事業主体1/2										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人＝9,500千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源		補正後の 予算額
決定額	△1,193							△1,193	54,537	
現計額	55,730							55,730		

事業内訳書

事業名	あまかおべにべに倍増作戦展開事業		
単位事業名	あまかおべにべに拡大体制強化事業	予算額	△ 416千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△416	—	
合計	△416	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△45	—	執行節減による事務経費の減
需用費	△360	—	執行節減による事務経費の減
役務費	△11	—	執行節減による事務経費の減
合計	△416	—	

単位事業名	あまかおべにべに生産施設整備事業	予算額	△ 777千円
-------	------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△777	—	

単位事業名	あまかおべにべに生産施設整備事業	予算額	△ 777千円
-------	------------------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△777	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△777	—	補助要望額が見込みを下回ったことによる減
合計	△777	—	